

# 令和2年度版(2020年度版)『小学算数』 年間指導計画案（2年）

## 学校の授業以外の場での学習が可能と 考えられる学習活動を考慮した詳細版

本資料は、令和2年度版教科書『小学算数』に基づいて、学校での授業と学校の授業以外の場において取り組む学習活動を併用してご指導いただく場合の学習指導計画案を示したものです。学校の授業以外の場において取り組む学習活動をできるだけ多く取り入れる場合を想定して示した一例ですので、地域や学校の状況に合わせて、適宜、学校の授業以外の場において取り組む学習活動を増減していただくなどしてご活用ください。

### ■本資料の見方

本資料では、①習熟や定着のための確認ページ、②既習内容の復習ページ、③学習内容の日常生活への活用ページを中心に、「学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる教材・学習活動」と位置づけ、表の右端の列に示しています。

#### 9 三角形と 四角形【形を しらべよう】（上P.108～120）

9月中旬～10月上旬【12時間】

##### 【単元の目標】

・三角形、四角形、直角、長方形、正方形、直角三角形について、それらの意味や性質を理解し、図形の構成要素に着目して図形の性質を見いだすとともに、ものの形を図形としてとらえたり、身の回りからそれらの形を見つけようとする態度を養う。

学校での授業と学校の授業以外の場において取り組む学習活動を併用してご指導いただく場合の学校での授業時間を示しています。

10	○身の回りから長方形、正方形、直角三角形を探そう	【ハロー！算数】 ・身の回りから長方形、正方形、直角三角形を探す。 ・長方形、直角三角形で平面を敷きつめる。	・調べ活動に取り組み、見つけたものをノートなどにまとめおくことにより、1時間扱いとすることもできる。
11	○身の回りから長方形、正方形、直角三角形を探そうとしたり、長方形や直角三角形で平面を敷きつめてできた模様的美しさや平面の広がりを感じたりする。		
学習のまとめ 1時間（0時間）			
12	○学習内容の理解を確認する。	・「たしかめポイント」(P.120)に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。

学校の授業以外の場において取り組む学習活動には、赤いアミを施すとともに、取り扱う際の指導上の留意事項などを示しています。

※本資料で示した各単元の学習活動、配当時間などは、今後公開される各種情報によって、変更となる可能性があります。ご了承ください。

# 『小学算数』 2年 年間指導計画（詳細案）

## 1 ひょうと グラフ [わかりやすく あらわそう] (上P.10~12)

4月中旬 [3時間]

### 【単元の目標】

- 身の回りの事象について、数量を分類整理し表やグラフで表したりよみとったりする技能を身につけ、データを整理する観点に着目してデータの特徴をとらえるとともに、簡潔でわかりやすく表せる表やグラフのよさに気づき、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

### 【単元の評価規準】

- 知・技**…身の回りにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表したり、それらをよみとったりすることができる。
- 思・判・表**…データを分析する観点に着目し、身の回りの事象を簡単な表やグラフに表し、データの特徴をとらえている。
- 態 度**…データをわかりやすく表そうとするとともに、簡単な表や○などを並べたグラフで表したことを振り返り、簡潔で視覚的にわかりやすく表せることに気づき、生活や今後の学習に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「つぎの学習のために」(P.9)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
<b>単元アプローチ (P.10) 1時間</b>			
1	○既習の方法を用いて数量を整理することができる。	・既習の数の整理の仕方(絵グラフ)を振り返る。	
<b>ひょうと グラフ (P.11~12) 2時間</b>			
2	○数量を表やグラフで表したり、よみとったりすることを通して、表やグラフのよさに気づく。	・かざりの形ごとにメダルの数を分類整理して、表やグラフで表す。	
3	○知りたいことに応じて着目する観点や分類整理の仕方を考え、データの特徴をとらえることができる。	・画用紙の色ごとにメダルの数を分類整理して、表やグラフで表す。 <b>【ハロー！算数】</b> ・好きな給食のメニューを調べる。	

## 2 たし算 [たし算の しかたを くふうしよう] (上P.14~28)

4月中旬～4月下旬 [9時間] **[7時間]**

### 【単元の目標】

- 2位数の加法の計算について、既習の基本的な計算をもとにしてできることを理解し、筆算で計算する技能を身につけ、十進位取り記数法のしくみに着目して計算の仕方を考え説明するとともに、筆算形式のよさに気づき、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

### 【単元の評価規準】

- 知・技**…2位数の加法の計算が、1位数などについての基本的な計算をもとにしてできることを知るとともに、その筆算の仕方や加法の交換法則について理解し、2位数の加法の計算を筆算ですることができる。
- 思・判・表**…十進位取り記数法に着目し、2位数の加法の計算の仕方を図や式、ことばなどを用いて考え表現している。
- 態 度**…2位数の加法の計算についてその計算の仕方を考えようとするとともに、図や式、ことばなどを用いて考えた過程を振り返り、筆算形式のよさに気づき、生活や今後の学習に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「つぎの学習のために」(P.13)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
<b>単元アプローチ (P.14) 1時間</b>			
1	○(2位数)+(2位数)の問題をつくり、表現することができる。	・さし絵を見て、(2位数)+(2位数)の計算について考え、問題づくりをする。	
<b>① たし算(1) (P.15~19) 3時間</b>			
2 ・ 3	○繰り上がりのない(2位数)+(2位数)の計算の仕方を考え表現し、その計算が筆算でできる。	・34+25の計算の仕方を考える。 ・繰り上がりのない(2位数)+(2位数)の計算の筆算による仕方をまとめる。	
4	○繰り上がりのないたし算(派生型)の筆算の仕方を考える。	・繰り上がりのないたし算(派生型)の筆算による仕方を考える。 例 75+20, 63+4	
<b>② たし算(2) (P.20~24) 2時間</b>			
5	○一の位が繰り上がる(2位数)+(2位数)の計算の仕方を考え表現し、その計算が筆算でできる。	・38+24の計算の仕方を考える。 ・一の位が繰り上がる(2位数)+(2位数)の計算の筆算による仕方をまとめる。	
6	○繰り上がりのあるたし算(派生型)の筆算ができる。	・繰り上がりのあるたし算(派生型)の筆算による仕方を考える。 例 34+56, 45+7	
<b>③ たし算の きまり (P.25~26) 1時間</b>			
7	○加法の交換法則を理解する。	・加法の交換法則を調べる。 ・加法の交換法則を用いて、加法の答えの確かめをする。	
※	「よみとろう あらわそう」(P.144)で、ドットを重ねたテープ図と分割されたテープ図の導入をはかる。		
<b>学習のまとめ 2時間 (0時間)</b>			
※	「わかっているかな?」「まちがしやすい問題」(P.27)で、学習内容をより確かなものにする。		
8 ・ 9	○学習内容の理解を確認する。	・「たしかめポイント」(P.28)に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。
※	「ぐっとチャレンジ」(P.132)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。		

### 3 ひき算【ひき算のしかたをくふうしよう】 (上P.30~41)

5月上旬~5月中旬 [10時間] **[8時間]**

#### 【単元の目標】

・2位数の減法の計算について、既習の基本的な計算をもとにしてできることを理解し、筆算で計算する技能を身につけ、十進位取り記数法のしくみに着目して計算の仕方を考え説明するとともに、筆算形式のよさに気づき、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

#### 【単元の評価規準】

**知・技**…2位数の減法の計算が、1位数などについての基本的な計算をもとにしてできることを知るとともに、筆算の仕方や加法と減法の相互関係について理解し、2位数の減法の計算を筆算ですることができる。

**思・判・表**…十進位取り記数法に着目し、2位数の減法の計算の仕方を図や式、ことばなどを用いて考え表現している。

**態 度**…2位数の減法の計算についてその計算の仕方を考えようとするとともに、図や式、ことばなどを用いて考えた過程を振り返り、筆算形式のよさに気づき、生活や今後の学習に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「つぎの学習のために」(P.29)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
<b>単元アプローチ (P.30) 1時間</b>			
1	○(2位数)－(2位数)の問題をつくり、表現することができる。	・さし絵を見て、(2位数)－(2位数)の計算について考え、問題づくりをする。	
<b>1 ひき算(1) (P.31～34) 3時間</b>			
2 ・ 3	○繰り下がりのない(2位数)－(2位数)の計算の仕方を考え表現し、その計算が筆算でできる。	・35－12の計算の仕方を考える。 ・繰り下がりのない(2位数)－(2位数)の計算の筆算による仕方をまとめる。	
4	○繰り下がりのないひき算(派生型)の筆算の仕方を考える。	・繰り下がりのないひき算(派生型)の筆算による仕方を考える。 例 73－30, 37－35, 96－5, 68－8	
<b>2 ひき算(2) (P.35～38) 3時間</b>			
5 ・ 6	○繰り下がりのある(2位数)－(2位数)の計算の仕方考え表現し、その計算が筆算でできる。	・54－28の計算の仕方を考える。 ・繰り下がりのある(2位数)－(2位数)の計算の筆算による仕方をまとめる。	
7	○繰り下がりのあるひき算(派生型)の筆算ができる。	・繰り下がりのあるひき算(派生型)の筆算による仕方を考える。 例 80－24, 72－65, 45－7, 60－8	
<b>3 ひき算の きまり (P.39) 1時間</b>			
8	○加法と減法の相互関係を理解する。	・加法と減法の相互関係を調べる。 ・加法と減法の相互関係を用いて、減法の答えの確かめをする。	
<b>学習のまとめ 2時間 (0時間)</b>			
※	「わかって いるかな?」「まちがしやすい 問題」(P.40)で、学習内容をより確かなものにする。		
9 ・ 10	○学習内容の理解を確認する。	・「たしかめポイント」(P.41)に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。
※	「ぐっとチャレンジ」(P.133)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。		

● たすのかな ひくのかな (上P.42) 5月中旬 [1時間]

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
1	○加法・減法を使った問題の解決の仕方考え、演算決定をすることができる。	・問題文をよみ、どのような計算で求められるかを考え、解決する。	・子どもの実態によっては、学校の授業以外の場での学習としてもよい。

## 4 長さの 単位〔長さを はかるう〕 (上P.44~54)

5月中旬～5月下旬〔9時間〕 **〔8時間〕**

### 【単元の目標】

- 長さの単位や測定の意味について理解し、長さを測定したり直線をひいたりする技能を身につけ、長さを的確に表現するとともに、普遍単位の必要性に気づき、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

### 【単元の評価規準】

- 知・技**…長さの単位 (cm, mm) とその関係、測定の意味 (量の大きさを単位を用いて数値化すること) について理解するとともに、測定するものに応じておおよその見当をつけて適切な長さの単位を選び、身の回りの具体物の長さを測定したり、きまった長さの直線をひいたりすることができる。
- 思・判・表**…身の回りのものの特徴を長さに着目してとらえ、測定するものや目的に応じた適切な単位を用いて、長さを的確に表現したり比べたりしている。
- 態度**…身の回りのものの長さに関心を持つとともに、長さを数値に表して比べたことを振り返り、普遍単位の必要性に気づき、生活や今後の学習に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「つぎの学習のために」(P.43)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
<b>単元アプローチ (P.44~45) 1時間</b>			
1	○既習の方法を用いて線の長さを比べることができる。	・さし絵を見て、3本の線の長さを比べる。	
<b>1 長さの はかり方 (P.45~48) 3時間</b>			
2	○ものの長さを数で表す方法について考える。	・長さは、同じ長さのいくつ分で表せることを確かめる。 ・任意単位の限界に気づく。	
3	○長さを「cm」の単位で表すことを理解し、普遍単位の必要性に気づく。	・長さを、いつでもわかりやすく表す方法を考える。 ・普遍単位「cm」を知る。	
4	○簡易ものさしを使って、ものの長さを測定することができる。	・ものさしを使って、いろいろなものの長さをはかる。 <b>【ハロー！算数】</b> ・10cmの長さの感覚をつかむ。	
<b>2 くわしい はかり方 (P.49~53) 4時間</b>			
5	○長さの端数の表し方を考え、長さの単位「mm」を知り、「cm」と「mm」の相互関係を理解する。	・はがきの横と縦の長さを調べる。 ・1cmより短い長さの表し方を考える。 ・普遍単位「mm」を知る。 ・30cmのものさしの目盛りのよみ方を知る。	
6	○ものさしを使って、身の回りのものの長さをはかることができる。	<b>【ハロー！算数】</b> ・30cmのものさしを使って身の回りのものの長さをはかる。	・学校の授業以外の場で、 <b>【ハロー！算数】</b> の活動に取り組ませてもよい。
7	○「直線」の用語と意味を理解し、ものさしを使ってきまった長さの直線をひくことができる。	・ものさしを使って直線を作図する。 ・直線の作図の仕方を確かめる。	
8	○長さの加法性を理解し、長さの加減計算ができる。	・さし絵の線の長さを調べ、長さの加減計算をする。	
<b>学習のまとめ 1時間 (0時間)</b>			
9	○学習内容の理解を確認する。	・「たしかめポイント」(P.54)に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。
※	「ぐっとチャレンジ」(P.134)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。		

## 5 時こくと 時間 [時計を 生活に つかおう] (上P.56~61)

6月上旬 [4時間] **[3時間]**

### 【単元の目標】

- 時間の単位とその関係などについて理解し、時刻や時間を求めたり表したりする技能を身につけ、時間の単位に着目して時刻や時間の求め方を考えるとともに、学習したことを日常生活で活用しようとする態度を養う。

### 【単元の評価規準】

**知・技**…時間の単位(日、時、分)とその関係や、時刻と時間の区別、午前と午後の意味について理解し、時刻や時間を表すことができる。

**思・判・表**…時間の単位に着目し、日常生活における時刻や時間の求め方を考えている。

**態 度**…時刻や時間に関心を持つとともに、時刻や時間を求めたことを振り返り、日常生活における時間の使い方をくふうしたり改善したりしようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「つぎの学習のために」(P.55)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
<b>時こくと 時間 (P.56~60) 3時間</b>			
1	○時刻と時間の意味のちがいや、時間の単位(時、分)の関係を理解する。	・起床から登校するまでの時刻や時間を調べ、時刻、時間の意味や時間の単位を知る。	
2	○午前と午後の意味や、1日が24時間であることを理解し、何時から何時までの時間や、決まった時間だけ前後する時刻の求め方を考える。	・1日の生活における時刻や時間を調べる。 ・午前、午後の意味を知る。 ・1日が24時間であることを知る。	
3	○時刻や時間を日常生活の中で活かそうとする。	<b>【ハロー！算数】</b> ・1日の生活の時刻や時間を調べて発表する。 ・休みの日の予定表をつくる。	・学校の授業以外の場で、 <b>【ハロー！算数】</b> の活動に取り組みせてもよい。
<b>学習のまとめ 1時間 (0時間)</b>			
4	○学習内容の理解を確認する。	・「たしかめポイント」(P.61)に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。
※	「ぐっとチャレンジ」(P.135)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。		

## 6 1000までの 数 [100より 大きい 数を あらわそう] (上P.64~76)

6月上旬~6月中旬 [10時間] **[9時間]**

### 【単元の目標】

- 1000までの数について、数の概念や十進位取り記数法のしくみを理解し、3位数をよんだりかいたりする技能を身につけ、数のまとまりに着目して数え方や比べ方を考えるとともに、10や100を単位としてとらえるよさに気づき、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

### 【単元の評価規準】

**知・技**…1000までの数について、十進位取り記数法による数の表し方、大小、順序、系列、数の相対的な大きさを理解するとともに、数をよんだり、かいたり、不等号(>、<)を用いて数の大小関係を表したり、10を単位とする簡単な加減計算をしたりすることができる。

**思・判・表**…10や100のまとまりに着目し、十進位取り記数法による数の表し方や比べ方を考えたり、数を相対的な大きさからとらえたりしている。

**態 度**…身の回りのものの個数を簡潔・明瞭・的確に数えようとするとともに、10や100のまとまりをつくって考えたことを振り返り、数のまとまりに着目するよさに気づき、生活や今後の学習に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「つぎの学習のために」(P.63)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		

1 数の あらわし方 (P. 64~72) 7時間			
1 ・ 2	○単元アプローチ (P. 64~65) ・ビー玉の数の教え方を話し合い、100より大きい数に関心を持つ。		
	○100より大きい数をくふうして教えようとし、3位数をよんだり、かいたりできる。	・ビー玉の個数を、10、100のまとまりにして数える。 ・3位数の加法的構造を調べ、3位数のよみ方、かき方を知る。	
3	○空位のある3位数をよんだり、かいたりできる。	・空位のある3位数のよみ方、かき方を考える。 ・3位数のよみ方、かき方の定着を図る。	
4	○数のまとまりに着目して3位数をとらえ、数の相対的な大きさについて理解する。	・3位数を乗法的にとらえる。 例 10を13こ集めた数を考える。 240は10を何こ集めた数か考える。	
5	○1000の構成や表し方、1000までの数の順序、系列を理解する。	・1000のよみ方、かき方を知る。 ・数直線に表された数をよむ。 ・数を数直線に表す。	
6	○1000までの数の順序、系列の理解を深めるとともに、数を多面的にとらえ表現することができる。	・1000までの数の順序、系列を調べる。 ・360をいろいろな見方で表す。	
7	○数の比べ方を考え、不等号を用いて数の大小関係を表すことができる。	・3つの数の大きさを比べる。 ・不等号 (>, <) を知る。	
2 何十の 計算 (P. 73~74) 2時間			
8	○(何十)+(何十)、(百何十)-(何十)の計算の仕方を、10を単位にして考え、計算することができる。	・10を単位にした加法・減法の仕方を考える。 例 50+80, 140-80	
9	○身の回りからいろいろな数を探し、整数の使い方について理解する。	【ハロー！算数】 ・身の回りからいろいろな数を探す。	・学校の授業以外の場で、【ハロー！算数】の活動に取り組みせてもよい。
学習のまとめ 1時間 (0時間)			
※	「わかっているかな?」「まちがしやすい問題」(P. 75)で、学習内容をより確かなものにする。		
10	○学習内容の理解を確認する。	・「たしかめポイント」(P. 76)に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。
※	「ぐっとチャレンジ」(P. 136)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。		

## 7 たし算と ひき算の 筆算【筆算の しかたを さらに くふうしよう】 (上P. 78~92)

6月下旬~7月中旬 [12時間] 【9時間】

### 【単元の目標】

- ・答えが3位数になる加法や簡単な場合の3位数などの加減計算について、筆算の仕方を理解し、十進位取り記数法のしくみに着目して計算の仕方を考え説明するとともに、筆算形式のよさに気づき、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

- 知・技**…答えが3位数になる加法や簡単な場合の3位数などの加減計算について、計算の仕方を理解し筆算で計算できるとともに、加法の結合法則について理解している。
- 思・判・表**…既習の筆算の仕方をもとに十進位取り記数法に着目し、答えが3位数になる加法や簡単な場合の3位数などの加減計算の仕方を図や式、ことばなどを用いて考え表現している。
- 態 度**…答えが3位数になる加法や簡単な場合の3位数などの加減計算について、その計算の仕方を考えようとするとともに、図や式、ことばなどを用いて考えた過程を振り返り、筆算形式のよさに気づき、生活や今後の学習に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「つぎの学習のために」(P.77)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
<b>単元アプローチ (P.78) 1時間 (0時間)</b>			
1	○既習の(2位数)±(2位数)の計算の仕方を説明することができる。	・さし絵を見て、既習の(2位数)±(2位数)の計算を振り返る。	・P.78の内容に取り組み、これまでに学習したたし算について振り返らせ、今後の学習への見通しを持たせておく。
<b>1 たし算 (P.79~82) 3時間</b>			
2	○十の位が繰り上がる(2位数)+(2位数)の計算の仕方を考え表現し、その計算が筆算でできる。	・53+74の筆算による仕方を考える。 ・(2位数)+(2位数)=(3位数)の筆算による仕方をまとめる。	
3	○一の位と十の位が繰り上がる(2位数)+(2位数)の計算の仕方を考え、その計算が筆算でできる。	・86+67の筆算による仕方を考える。 ・繰り上がりが2回ある(2位数)+(2位数)=(3位数)の筆算による仕方をまとめる。	
4	○百の位に波及的に繰り上がる(2位数)+(1, 2位数)の計算の仕方を考え、その計算が筆算でできる。	・百の位に波及的に繰り上がる(2位数)+(1, 2位数)の筆算による仕方を考える。 例 37+65, 96+8	
<b>2 ひき算 (P.83~86) 3時間</b>			
5	○百の位が繰り下がる(3位数)-(2位数)の計算の仕方を考え表現し、その計算が筆算でできる。	・127-52の筆算による仕方を考える。 ・(3位数)-(2位数)=(2位数)の筆算による仕方をまとめる。	
6	○十の位と百の位が繰り下がる(3位数)-(2位数)の計算の仕方を考え、その計算が筆算でできる。	・142-58の筆算による仕方を考える。 ・繰り下がりが2回ある(3位数)-(2位数)=(2位数)の筆算による仕方をまとめる。	
7	○百の位が波及的に繰り下がる(3位数)-(2, 1位数)の計算の仕方を考え、その計算が筆算でできる。	・102-47の筆算による仕方を考える。 ・百の位が波及的に繰り下がる(3位数)-(2位数)の筆算による仕方をまとめる。	
<b>3 筆算を つかって (P.87~88) 2時間</b>			
8	○(3位数)+(1, 2位数)の計算が筆算できるとともに、筆算のよさに気づく。	・(3位数)+(1, 2位数)の筆算による仕方を考える。 例 543+24, 468+25, 156+9	
9	○(3位数)-(1, 2位数)の計算が筆算できるとともに、筆算のよさに気づく。	・(3位数)-(1, 2位数)の筆算による仕方を考える。 例 393-52, 276-29, 324-8	

<b>4 ( ) を つか っ た 計 算 (P. 89~90) 1 時 間</b>			
10	○ ( ) の意味を知り、3口の加法をくふうして計算し、そのよさに気づく。	・3口の加法の計算の順序を調べる。 ・( ) の意味を知る。	
<b>学習のまとめ 2時間 (0時間)</b>			
※	「わかっているかな?」「まちがいがやすい問題」(P.91)で、学習内容をより確かなものにする。		
11 ・ 12	○学習内容の理解を確認する。	・「たしかめポイント」(P.92)に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。
※	「ぐっとチャレンジ」(P.137)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。		

**\* ふくしゅう (上P.93~94) 配当時数なし**

※	「ふくしゅう」(P.93~94)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。
---	---

**8 水の かさ [水の かさを はかろう] (上P.96~105)**

9月上旬~9月中旬 [7時間] **[6時間]**

**【単元の目標】**

- ・かさの単位や測定の意味について理解し、かさを測定する技能を身につけ、かさを的確に表現するとともに、普遍単位の必要性に気づき、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

**【単元の評価規準】**

- 知・技**…かさの単位(L, dL, mL)とその相互関係、測定の意味(量の大きさを単位を用いて数値化すること)について理解するとともに、測定するものに応じておおよその見当をつけ、適切なかさの単位を選び、身の回りの具体物にはいる水のかさを測定することができる。
- 思・判・表**…身の回りのものの特徴をその中にはいる水のかさに着目してとらえ、測定するものや目的に応じた適切な単位を用いて、かさを的確に表現したり比べたりしている。
- 態 度**…身の回りのものにはいる水のかさに関心を持つとともに、かさを数値に表して比べたことを振り返り、普遍単位の必要性に気づき、生活や今後の学習に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「つぎの学習のために」(P.95)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
<b>単元アプローチ (P.96) 1時間</b>			
1	○既習の方法を用いてかさを比べることができる。	・2つの水筒にはいる水のかさを比べる。	
<b>水の かさ (P.97~103) 5時間</b>			
2	○水のかさを数で表す方法について考え、かさを「dL」の単位で表すことを理解し、普遍単位の必要性に気づく。	・かさの表し方を考える。 ・かさは、同じかさのいくつ分で表されることを確かめる。 ・普遍単位「dL」を知る。	
3	○かさの単位「L」を知り、「L」と「dL」の相互関係を理解する。	・やかんにはいる水のかさのはかり方を調べる。 ・かさの単位「L」を知る。 ・「L」と「dL」の相互関係を調べる。	
4	○単位量のますを使って身の回りのものにはいる水のかさをはかることができる。	<b>【ハロー！算数】</b> ・1Lますや1dLますで、身の回りの容器のかさをはかる。	

5	○かさの単位「mL」を知り、「L」と「mL」の相互関係を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・缶にはいる水のかさを調べる。</li> <li>・1 dLより小さいかさの表し方を考える。</li> <li>・普遍単位「mL」を知る。</li> </ul>	
6	○身の回りで「mL」や「L」が活用されていることに気づくとともに、かさの加法性を理解し、かさの加減計算ができる。	<b>【ハロー！算数】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「mL」や「L」の表示のある容器を探す。</li> <li>・かさの加法性、加減計算について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の授業以外の場で、【ハロー！算数】の活動に取り組みさせてもよい。</li> </ul>
<b>学習のまとめ 1時間（0時間）</b>			
※	「わかっているかな？」「まちがいがやすい問題」(P.104)で、学習内容をより確かなものにする。		
7	○学習内容の理解を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「たしかめポイント」(P.105)に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。</li> </ul>

## 9 三角形と 四角形【形を しらべよう】 (上P.108~120)

9月中旬~10月上旬 [12時間] **[11時間]**

### 【単元の目標】

- ・三角形、四角形、直角、長方形、正方形、直角三角形について、それらの意味や性質を理解し、図形の構成要素に着目して図形の性質を見いだすとともに、ものの形を図形としてとらえたり、身の回りからそれらの形を見つけようとしたりする態度を養う。

### 【単元の評価規準】

**知・技**…三角形、四角形、直角、長方形、正方形、直角三角形の意味や性質を理解するとともに、紙を折る・切るなどして直角、三角形、四角形をつくったり、格子状に並んだ点などを用いて長方形、正方形、直角三角形を作図したりすることができる。

**思・判・表**…図形を構成する要素(辺、頂点、角など)に着目し、図形の観察や分類を通して、三角形や四角形、長方形や正方形の特徴を見いだしている。

**態 度**…図形の構成要素に着目したことを振り返り、ものの形を図形としてとらえたり、身の回りから三角形、四角形、直角、長方形、正方形、直角三角形を見つけたりしようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「つぎの学習のために」(P.107)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
<b>単元アプローチ (P.108~109) 1時間</b>			
1	○定規を使って直線で囲まれた形をかくことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直線の意味を確かめる。</li> <li>・さし絵の動物を直線で囲む。</li> </ul>	
<b>1 三角形と 四角形 (P.109~113) 3時間</b>			
2	○構成要素に着目して図形の分け方を考え、三角形、四角形の意味を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辺や角に着目して、図形の分け方を考える。</li> <li>・三角形、四角形の意味を知る。</li> </ul>	
3	○辺、頂点の意味を知り、三角形や四角形について理解を深めるとともに、三角形や四角形を作図できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辺、頂点の意味を知る。</li> <li>・三角形、四角形の辺や頂点の数を調べる。</li> <li>・三角形、四角形を作図する。</li> </ul>	
4	○三角形、四角形の分割のしかたと、分割してできる図形についての特徴を説明することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形を1本の直線で2つに切る切り方を調べる。</li> <li>・四角形を1本の直線で2つに切る切り方を調べる。</li> </ul>	

2 長方形と 正方形 (P.114~119) 7時間			
5	○直角の意味を理解し、身の回りから直角を見つけようとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙を折ってかどの形をつくる。</li> <li>直角の意味を知る。</li> </ul> <b>【ハロー！算数】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りから直角を探す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の授業以外の場で、<b>【ハロー！算数】</b>の活動に取り組みさせてもよい。</li> </ul>
6	○紙を折る活動を通して、長方形の意味や性質を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>長方形の意味や性質を知る。</li> <li>長方形の弁別をする。</li> </ul>	
7	○紙を折ったり切ったりする活動を通して、正方形の意味や性質を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>正方形の意味や性質を知る。</li> <li>正方形の弁別をする。</li> </ul>	
8	○直角三角形の意味や性質を理解するとともに、三角定規の特徴をもとにいろいろな形をつくろうとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>直角三角形の意味を知る。</li> </ul> <b>【ハロー！算数】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>三角定規を並べて、三角形や四角形をつくる。</li> </ul>	
9	○長方形、正方形、直角三角形の作図ができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>方眼紙を使って、長方形、正方形、直角三角形を作図する。</li> </ul>	
10 ・ 11	○身の回りから長方形、正方形、直角三角形を探そうとしたり、長方形や直角三角形で平面を敷きつめてできた模様の美しさや平面の広がりを感じたりする。	<b>【ハロー！算数】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りから長方形、正方形、直角三角形を探す。</li> <li>長方形、直角三角形で平面を敷きつめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べ活動に取り組みさせて、見つけたものをノートなどにまとめさせおくことにより、1時間扱いとすることもできる。</li> </ul>
学習のまとめ 1時間 (0時間)			
12	○学習内容の理解を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「たしかめポイント」(P.120)に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。</li> </ul>

# 10 かけ算(1) [新しい 計算の しかたを 考えよう] (下P.6~25)

10月上旬~11月上旬 [22時間] [17時間]

## 【単元の目標】

- 乗法の意味や性質などを理解し、九九を正しく唱える技能などを身につけ、数量の関係に着目して乗法の簡単な性質や九九の構成を考えるとともに、ものの総数を簡潔な式で求められる乗法よさに気づき、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

## 【単元の評価規準】

**知・技**…乗法の意味や性質、計算の仕方を理解し、乗法が用いられる場面を式に表したり、式をよみ取ったりすることができるとともに、九九(2, 5, 3, 4の段)を正しく唱えることができる。

**思・判・表**…数量の関係に着目し、乗法が用いられる場面を具体物や図、式、ことばなどで表したり、乗法の簡単な性質(乗数が1増えると、積は被乗数だけ増えること)を見いだしたりしながら、九九の構成の仕方について考えている。

**態 度**…累加の場面を乗法の式で表したり、九九を構成したりしたことを振り返り、ものの総数を簡潔な式で簡単に求められる乗法よさに気づき、身の回りから乗法が用いられる場面を見つけ、用いようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「つぎの学習のために」(P.5)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
<b>1 かけ算 (P.6~14) 7時間</b>			
1 ・ 2	○単元アプローチ (P.6) ・数のまとまりに着目して、子どもやジュース、パンフレットの種類の数を数える。		
	○数のまとまりに着目して、数の数え方をくふうし、同じ数ずつまとめることよさに気づく。	・乗り物に乗っている人数を調べる。 ・同数ずつの集まりをもとに数え方を考える。 ・数量の大きさを「1つ分の数」「いくつ分」でとらえる。	・可能であれば、乗り物に乗っている人数を調べさせておくことにより、1時間扱いとすることもできる。
3 ・ 4	○かけ算の意味や式の表し方、よみ方を理解し、数量をかけ算の式で表すことができる。	・自転車に乗っている人の数を調べることを通して、かけ算の意味を知る。 ・かけ算の式のかき方を知る。	
5	○かけ算の場面を具体物や式で表し、かけ算の意味の理解を深める。	・ブロックを「1つ分の数×いくつ分」の考え方で並べる。 ・並んだブロックを見て、その場面をかけ算の式に表す。	
6	○かけ算の場面を式や図で表し、答えが累加で求められることを理解する。	・かけ算の場面を式や図に表し、答えの求め方を考える。	
7	○身の回りからかけ算が用いられる場面を見つけ、活用しようとする。	<b>【ハロー！算数】</b> ・身の回りのものから、かけ算の式で表せるものを探す。	
<b>2 ばい (P.15~16) 2時間</b>			
8	○用語「倍」を知り、その意味を理解する。	・用語「倍」を知る。 ・テープの長さを比べることを通して、倍の意味を知る。	
9	○倍の大きさを求めるときも、かけ算が用いられることを理解する。	・テープの長さを求める活動を通して、かけ算を用いて倍の大きさを求める。	
<b>3 2のだんの 九九 (P.17~18) 3時間 (2時間)</b>			
10	○用語「九九」を知り、2の段の九九の構成を考える。	・用語「九九」を知る。 ・たまごを2個ずつ使って1皿分の目玉やきをつくる場面をもとに、2の段の九九を構成する。	

11 ・ 12	○2の段の九九を正しく唱え、それを適用することができる。	・2の段の九九を唱える。 ・2の段の九九を適用する。	・九九の練習に取り組みさせる。授業では、九九の唱え方の理解と適用問題に重点を置くことにより、 <u>1時間扱いとする。</u>
<b>4 5のだんの 九九 (P.19~20) 3時間 (2時間)</b>			
13	○既習事項を振り返りながら5の段の九九の構成を考える。	・1袋に5枚の食パンがはいっている場面をもとに、5の段の九九を構成する。	
14 ・ 15	○5の段の九九を正しく唱え、それを適用することができる。	・5の段の九九を唱える。 ・5の段の九九を適用する。	・九九の練習に取り組みさせる。授業では、九九の唱え方の理解と適用問題に重点を置くことにより、 <u>1時間扱いとする。</u>
<b>5 3のだんの 九九 (P.21~22) 3時間 (2時間)</b>			
16	○用語「かけられる数」「かける数」を知り、3の段の九九の構成を考える。	・1ケースに3本のペンがはいっている場面をもとに、3の段の九九を構成する。 ・用語「かけられる数」「かける数」を知る。	
17 ・ 18	○3の段の九九を正しく唱え、それを適用することができる。	・3の段の九九を唱える。 ・3の段の九九を適用する。	・九九の練習に取り組みさせる。授業では、九九の唱え方の理解と適用問題に重点を置くことにより、 <u>1時間扱いとする。</u>
<b>6 4のだんの 九九 (P.23~24) 3時間 (2時間)</b>			
19	○乗法の性質を見だし、4の段の九九の構成を考える。	・1パックに4個のヨーグルトがはいっている場面をもとに、4の段の九九を構成する。	
20 ・ 21	○4の段の九九を正しく唱え、それを適用することができる。	・4の段の九九を唱える。 ・4の段の九九を適用する。	・九九の練習に取り組みさせる。授業では、九九の唱え方の理解と適用問題に重点を置くことにより、 <u>1時間扱いとする。</u>
<b>学習のまとめ 1時間 (0時間)</b>			
22	○学習内容の理解を確認する。	・「たしかめポイント」(P.25)に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。

## 11 かけ算(2) [新しい九九の 作り方を 考えよう] (下P.28~39)

11月上旬~12月上旬 [15時間] **[10時間]**

### 【単元の目標】

- 乗法の意味や性質などの理解を深め、九九を正しく唱える技能などを身につけ、数量の関係に着目して乗法の簡単な性質や九九の構成を考え説明するとともに、乗法の性質を用いて考えるよさに気づき、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

### 【単元の評価規準】

**知・技**…乗法の意味や性質、計算の仕方を理解し、乗法が用いられる場面を式に表したり、式をよみとったりすることができるとともに、九九(6, 7, 8, 9, 1の段)を正しく唱えることができる。

**思・判・表**…数量の関係に着目し、乗法が用いられる場面を図、式などで表したり、乗法の簡単な性質(交換法則、分配法則)を見いだしたりしながら、九九の構成の仕方について考え説明している。

**態 度**…乗法の簡単な性質をもとにして九九の構成の仕方考えた過程を振り返り、乗法の性質を用いると計算が簡単になったり計算の確かめができたりに気づき、生活や今後の学習に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「つぎの学習のために」(P.27)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
<b>単元アプローチ (P.28) 1時間</b>			
1	○九九の表に関心を持ち、既習の九九を確かめ理解を深める。	・既習事項を振り返り、2~5の段の九九の表をつくる。	

<b>1 6のだんの 九九 (P. 29～30) 3時間 (2時間)</b>			
2	○乗法の性質に着目し、6の段の九九の構成を考え説明する。	・アレイ図や、乗法の性質（乗数が1増えると、積は被乗数だけ増える）を使って、6の段の九九を構成する。	
3 ・ 4	○6の段の九九を正しく唱え、それを適用することができる。	・6の段の九九を唱える。 ・6の段の九九を適用する。	・九九の練習に取り組みさせる。授業では、九九の唱え方の理解と適用問題に重点を置くことにより、 <u>1時間扱いとする。</u>
<b>2 7のだんの 九九 (P. 31～32) 3時間 (2時間)</b>			
5	○乗法の性質を見だし、7の段の九九の構成を考え説明する。	・アレイ図や乗法の性質（交換法則、分配法則など）を使って、7の段の九九を構成する。	
6 ・ 7	○7の段の九九を正しく唱え、それを適用することができる。	・7の段の九九を唱える。 ・7の段の九九を適用する。	・九九の練習に取り組みさせる。授業では、九九の唱え方の理解と適用問題に重点を置くことにより、 <u>1時間扱いとする。</u>
<b>3 8のだんの 九九 (P. 33～34) 3時間 (2時間)</b>			
8	○乗法の性質に着目し、8の段の九九の構成を考え説明する。	・アレイ図や乗法の性質（交換法則、分配法則など）を使って、8の段の九九を構成する。	
9 ・ 10	○8の段の九九を正しく唱え、それを適用することができる。	・8の段の九九を唱える。 ・8の段の九九を適用する。	・九九の練習に取り組みさせる。授業では、九九の唱え方の理解と適用問題に重点を置くことにより、 <u>1時間扱いとする。</u>
<b>4 9のだんの 九九 (P. 35～36) 3時間 (2時間)</b>			
11	○乗法の性質に着目し、9の段の九九の構成を考え説明する。	・アレイ図や既習の乗法の性質を使って、9の段の九九を構成する。	
12 ・ 13	○9の段の九九を正しく唱え、それを適用することができる。	・9の段の九九を唱える。 ・9の段の九九を適用する。	・九九の練習に取り組みさせる。授業では、九九の唱え方の理解と適用問題に重点を置くことにより、 <u>1時間扱いとする。</u>
<b>5 1のだんの 九九 (P. 37) 1時間</b>			
14	○1の段の九九の構成を理解し、正しく唱えることができる。	・1の段の九九を構成する。 ・1の段の九九を唱える。	
<b>学習のまとめ 1時間 (0時間)</b>			
※	「わかっているかな?」「まちがいやすい問題」(P. 38)で、学習内容をより確かなものにする。		
15	○学習内容の理解を確認する。	・「たしかめポイント」(P. 39)に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。
※	「ぐっとチャレンジ」(P. 114)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。		

## 12 九九の ひょう [かけ算の きまりを 見つけよう] (下P. 42～52)

12月上旬～12月中旬 [7時間] [6時間]

### 【単元の目標】

- ・乗法に関して成り立つ性質について理解し、数量の関係や既習の乗法に着目して簡単な場合の2位数と1位数との乗法の計算の仕方を考え説明するとともに、九九の表の考察を振り返り、身の回りから乗法の場面を見つけ用いようとする態度を養う。

**【単元の評価規準】**

- 知・技**…乗法について成り立つ性質（乗数が1増えると、積は被乗数だけ増えること、交換法則、分配法則）を理解し、簡単な場合の2位数と1位数のかけ算の計算の仕方を知っている。
- 思・判・表**…乗数、被乗数、積の数量の関係に着目して乗法の性質を考え説明したり、既習の乗法やその構成の仕方をもとに、簡単な場合の2位数と1位数との乗法の計算の仕方を考えたりするとともに、乗法を活用して日常生活などの場面の問題を解決している。
- 態 度**…九九の表をもとに乗法の性質について考えた過程を振り返り、簡単な場合の2位数と1位数との乗法の計算の仕方を発展的に考えようとするとともに、身の回りから乗法の場面を見つけようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「つぎの学習のために」(P.41)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
<b>1] かけ算の きまり (P.42~46) 4時間</b>			
1 ・ 2	○単元アプローチ (P.42) ・九九の表をつくり、乗法九九を振り返る。		
	○九九の表の考察を通して、乗数、被乗数、積の関係に着目し、乗法の性質について考え理解する。	・九九の表を調べ、わかったことを発表し話し合う。 ・乗数、被乗数、積の関係を調べる。	・可能であれば、デジタルコンテンツを活用し、九九の表をつくることにより、1時間扱いとすることもできる。
3	○乗法の交換法則を理解する。	・乗法の交換性を調べる。	
4	○簡単な場合の2位数と1位数のかけ算の計算の仕方を考える。	・12程度までの2位数と1位数のかけ算の仕方を考える。	
<b>2] かけ算を つかって (P.47~51) 2時間</b>			
5	○ものの数を、さまざまな数のまとまりに着目し、乗法を用いて考え説明することができる。	・乗法を使って、いすの総数を求める。 ・どの数のまとまりに着目して考えたのか発表する。	
6	○ものの数を、乗法が適用できるようにくふうし、乗法を活用した多様な方法で考え説明することができる。	・L字型に並んだボールの数を、乗法を使った多様な考え方で求める。	
※	「つなげる算数」(P.51)で、24このおはじきの並べ方を式で表す活動を通して、これまでの学習内容(加法・減法・乗法)を関連づけ、統合させる。		
<b>学習のまとめ 1時間 (0時間)</b>			
7	○学習内容の理解を確認する。	・「たしかめポイント」(P.52)に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。
※	「ぐっとチャレンジ」(P.115)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。		

**\* ふくしゅう (下P.53~54) 配当時数なし**

※	「ふくしゅう」(P.53~54)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。
---	---

**13 長い 長さ [長い 長さを はかろう] (下P.56~61)**

1月中旬 [5時間] [4時間]

**【単元の目標】**

- ・長さの単位や測定の意味について理解し、長いものの長さを測定する技能を身につけ、長さを的確に表現するとともに、適切な計器や単位を用いるよさに気づき、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

**【単元の評価規準】**

**知・技**…長さの単位 (m) や  $1\text{ m}=100\text{ cm}$  という長さの関係、測定の意味 (量の大きさを単位を用いて数値化すること) について理解するとともに、測定するものに応じておよその見当をつけて適切な長さの単位を選び、身の回りの具体物の長さを測定することができる。

**思・判・表**…身の回りのものの特徴を長さに着目してとらえ、測定するものや目的に応じた適切な単位を用いて、長さを的確に表現したり比べたりしている。

**態 度**…身の回りのものの長さに関心を持つとともに、長さを数値に表して比べたことを振り返り、適切な計器や単位を用いて測定したり表したりするよさに気づき、生活や今後の学習に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「つぎの学習のために」 (P. 55) は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
<b>単元アプローチ (P. 56) 1時間</b>			
1	○身の回りのものの長さに関心を持ち、既習事項を用いて長さを測定したり表したりすることができる。	・30cmのものさしを使って、いろいろなものの長さをはかる。	
<b>長い 長さ (P. 57~60) 3時間</b>			
2	○長さの単位「m」を知り、「m」と「cm」の相互関係を理解する。	・両手を広げた長さをはかる。 ・長さの単位「m」を知る。 ・複名数と単名数で両手を広げた長さを表す。	
3	○1mのものさしを使って、長さをはかることができる。	<b>【ハロー！算数】</b> ・身の回りのものの長さを、1mものさしを使ってはかる。	
4	○適切な単位を考えるとともに、長さの加減計算ができる。	・適切な単位を考え、ものの長さを表す。 ・長さの加法・減法の計算をする。	
<b>学習のまとめ 1時間 (0時間)</b>			
5	○学習内容の理解を確認する。	・「たしかめポイント」(P. 61) に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。
※	「ぐっとチャレンジ」(P. 116) は、予備時間などを使って弾力的に扱う。		

**14 10000までの 数 [1000より 大きい 数を あらわそう] (下P. 64~78)**

1月中旬~2月上旬 [11時間] **[10時間]**

**【単元の目標】**

・10000までの数について、数の概念や十進位取り記数法のしくみを理解し、4位数をよんだりかいたりする技能を身につけ、数のまとまりに着目して数え方や比べ方を考えるとともに、10, 100, 1000を単位としてとらえるよさに気づき、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

**【単元の評価規準】**

**知・技**…10000 までの数について、十進位取り記数法による数の表し方、大小、順序、系列、数の相対的な大きさを理解するとともに、数をよんだり、かいたり、不等号 (>, <) を用いて数の大小関係を表したり、100を単位とする簡単な加減計算をしたりすることができる。

**思・判・表**…10 や 100, 1000 のまとまりに着目し、十進位取り記数法による数の表し方や比べ方を考えたり、数を相対的な大きさからとらえたりしている。

**態 度**…身の回りのものの個数を簡潔・明瞭・的確に数えようとするとともに、10 や 100, 1000 のまとまりをつかって考えたことを振り返り、数のまとまりに着目するよさに気づき、生活や今後の学習に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「つぎの学習のために」 (P. 63) は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		

単元アプローチ (P. 64~65) 1時間			
1	○1000より大きい数を簡潔・明瞭・的確に数える方法を考える。	・はがきの枚数を、10, 100, 1000のまとまりにして数える。	
1 数の あらわし方 (P. 65~75) 7時間			
2	○4位数をよんだり、かいたりすることができる。	・4位数の加法的構造を調べ、4位数のよみ方、かき方を知る。	
3	○空位のある4位数をかいたり、よんだりできる。	・空位のある4位数のよみ方、かき方を考える。 ・4位数のよみ方、かき方の定着を図る。	
4	○数のまとまりに着目して4位数をとらえ、数の相対的な大きさを理解する。	・4位数を乗法的にとらえる。 例 100を16こ集めた数を考える。 2300は100を何こ集めた数か考える。	
5	○10000の構成や表し方を理解する。	・10000のよみ方、かき方を知る。	
6	○10000までの数の順序、系列の理解を深める。	・10000までの数の順序、系列を調べる。	
7	○数の比べ方を考え表現し、不等号を用いて数の大小関係を表すことができる。	・2つの数の大きさを比べる。	
8	○数を多面的にとらえ、ことばや図、式などを用いて表現する。	・2800をいろいろな見方で表す。	・学校の授業以外の場で、P. 73-75の活動に取り組ませ、自分の考えた見方をノートにまとめさせてもよい。
2 何百の 計算 (P. 76) 2時間			
9 ・ 10	○(何百)±(何百)の計算の仕方を、100を単位にして考え、計算することができる。	・100を単位にした加法、減法の計算の仕方を考える。 例 800+500, 500-100	
学習のまとめ 1時間 (0時間)			
※	「わかっているかな?」「まちがいやすい問題」(P. 77)で、学習内容をより確かなものにする。		
11	○学習内容の理解を確認する。	・「たしかめポイント」(P. 78)に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。
※	「ぐっとチャレンジ」(P. 117)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。		

## 15 もんだいの 考え方 [図に あらわして 考えよう] (下P. 80~86)

2月上旬~2月中旬 [6時間] [5時間]

### 【単元の目標】

・加法と減法の相互関係について理解し、図や式を用いて問題を解決する技能を身につけ、加法と減法の相互関係に着目して図をもとに数量の関係を式で表現するとともに、数量の関係を図や式に表すよさに気づき、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

### 【単元の評価規準】

**知・技**…加法と減法の相互関係について理解するとともに、問題場面を図や式に表し、式を用いて問題を解決することができる。

**思・判・表**…加法と減法の相互関係に着目し、場面を表した図をもとに数量の関係をとらえたり、式や答えの求め方を考え表現したりしている。

**態 度**…場面を図に表して問題解決したことを振り返り、数量の関係をわかりやすく表せる図のよさに気づき、生活や今後の学習に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「つぎの学習のために」(P.79)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
<b>単元アプローチ (P.80) 1時間</b>			
1	○簡単な加法の問題場面のテープ図への表し方を理解する。	・簡単な加法の問題場面(増加)を図で表す。 ・□の使い方を知る。	
<b>もんだいの 考え方 (P.81~84) 4時間</b>			
2	○減法逆減法の問題場면을テープ図に表し、求め方を考え表現することができる。	・減法逆減法の場면을図に表し、問題を解決する。	
3	○減法逆加法の問題場면을テープ図に表し、求め方を考え表現することができる。	・減法逆加法の場면을図に表し、問題を解決する。	
4	○加法逆減法の問題場면을テープ図に表し、求め方を考え表現することができる。	・加法逆減法の場면을図で表し、問題を解決する。	
5	○問題場면을テープ図に表し求め方を考え、加法と減法の相互関係について理解を深める。	・増加や加法逆減法の問題場면을テープ図に表し、求め方を考える。	
<b>学習のまとめ 1時間 (0時間)</b>			
※	「わかっているかな?」「まちがいがやすい問題」(P.85)で、学習内容をより確かなものにする。		
6	○学習内容の理解を確認する。	・「たしかめポイント」(P.86)に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。

## 16 はこの形 [はこの形を しらべよう] (下P.88~94)

2月中旬~2月下旬 [6時間] [5時間]

### 【単元の目標】

- ・箱の形の構成要素の意味やその形、数などを理解し、箱の形を構成する技能を身につけ、図形の構成要素に着目して立体をとらえるとともに、学習したことを今後の学習に活用しようとしたり、身の回りから箱の形をしたものを見つけようとしたりする態度を養う。

### 【単元の評価規準】

**知・技**…箱の形を構成する要素(面、辺、頂点)の意味やその形、数などを理解するとともに、正方形や長方形を組み合わせた、ひごと粘土玉を使ったりして、箱の形をつくることができる。

**思・判・表**…図形を構成する要素(面、辺、頂点)に着目して図形を分類し、箱の形の特徴を考え見いだしている。

**態 度**…身の回りの箱の形に関心を持つとともに、箱の形の構成要素に着目したことを振り返り、箱の形をつくらうとしたり、身の回りから箱の形(直方体、立方体)を見つけようとしたりしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
※	「つぎの学習のために」(P.87)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
<b>単元アプローチ (P.88) 1時間</b>			
1	○身の回りの箱の形について調べ、分類の仕方を考える。	・身の回りの箱を集めて、特徴を調べ、なかま分けする。	
<b>はこの形 (P.89~93) 4時間</b>			

2	○箱の面に着目して箱の形の特徴をとらえ、図形の構成要素について理解している。	・箱の形の構成要素（面）を知る。 ・箱の面を紙にうつつし取り、その形や数を調べる。	
3	○切り取った面の形をつないで、箱の形をつくることができる。	・うつつし取った面の形を切り取り、箱の形を構成する。	
4	○箱の形の特徴に着目し、面の選び方や面のつなぎ方を考える。	<b>【ハロー！算数】</b> ・長方形や正方形の紙をつないで、箱の形を構成する。	
5	○ひごと粘土玉を使って箱の形をつくることを通して、「辺」「頂点」について理解する。	・ひごと粘土玉を使って箱の形をつくり、箱の形の構成要素（辺、頂点）を知る。	
<b>学習のまとめ 1時間（0時間）</b>			
6	○学習内容の理解を確認する。	・「たしかめポイント」（P.94）に取り組む。	・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。

## 17 分数【分けた 大きさの あらわし方を 考えよう】（下P.95～99）

3月上旬 [4時間]

### 【単元の目標】

- ・簡単な分数の意味や表し方、よみ方を理解し、もとの大きさに着目して等分したものの大きさを分数で表したり、等分したものの大きさに着目してもとの大きさを考えたりするとともに、分数を用いていろいろなものを等分した大きさを表そうとしている。

### 【単元の評価規準】

**知・技**… $1/2$ ,  $1/3$ ,  $1/4$ などの簡単な分数（分母が1桁程度の単位分数）の意味を知り、同じ大きさに分けたときの一つ分の大きさを分数で表したり、よんだりすることができる。

**思・判・表**…もとの大きさに着目して等分したものの大きさを分数で表したり（12個の $1/3$ は4個）、等分したものの大きさに着目してもとの大きさ（4個の3倍は12個）を考えたりしている。

**態 度**…具体物を操作して得られた大きさを分数で表したことを振り返り、分数を用いると等分した大きさを表すことができるよさに気づき、生活や今後の学習に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
1	○「 $1/2$ 」の意味やよみ方、かき方を理解する。	・折り紙を折って、半分（ $1/2$ ）の大きさをつくる。 ・「二分の一」、 $1/2$ という表し方を知る。	
2	○「 $1/4$ 」「 $1/3$ 」などの簡単な分数の意味やよみ方、かき方を理解する。	・折り紙をさらに半分に折って、 $1/4$ の大きさをつくる。 ・「四分の一」、 $1/4$ という表し方や用語「分数」を知る。 ・3等分した折り紙を見て、「三分の一」、 $1/3$ という表し方を知る。	
3	○簡単な分数についての理解を深め、分け方を説明することができる。	・12個のブロックを操作して、 $1/2$ , $1/3$ , $1/4$ の大きさをつくる。	
4	○もとの大きさに着目し、等分したものの実際の大きさを考える。	・8cmと4cmのテープをそれぞれ $1/2$ の大きさにした長さを考える。	

● 算数アドベンチャー (下P. 100~101) 3月上旬~3月中旬 [1時間]

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
1	○カレンダーの数の並び方に着目し、いろいろな式で総日数を表すことができる。	・たし算やかけ算などをつかい、カレンダーの総日数を求めるいろいろな式をつくる。	・子どもの実態によっては、学校の授業以外の場での学習としてもよい。

● 2年のまとめ (下P. 102~104) 3月中旬 [3時間] **[0時間]**

時	目 標	学 習 活 動	学校の授業以外の場での学習が可能であると 考えられる学習活動や指導上の留意事項
1 ~ 3	○2年の学習内容についての理解を確かなものにする。	・2年の学習内容を確認する。	・答え合わせまで行う。その際、児童がわからなかった問題は、個別に支援する。